

I-1 事業の概要

事務事業名	廃棄物排出事業者指導業務				所管局部課等	環境政策局事業系廃棄物対策室			
ホームページアドレス	http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/soshiki/5-8-0-0-0.html				(連絡先)	075-366-1394			
					(評価票作成者)	事業ごみ減量推進課長 志渡澤 祥宏			

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性		24予算額 (千円)	目標達成度評価				
15,702	35,166	現状のまま継続		18,984	指標：立入指導件数				
業務運営方法	☐ 直営	委託(補助)先の名称, 委託(補助)の内容							
	☒ 部分委託	<委託先の名称>(財)京都市環境事業協会, (株)地域社会研究所 等							
	☐ 部分補助等	<委託内容>産業廃棄物の適正保管適正処理監視							
	☐ 全部委託	パトロール業務, 産業廃棄物管理票交付等状況報告書入力業務 等							
	☐ 全部補助等								
実施根拠 (法令, 条例, 規則, 要綱等)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 建設リサイクル法 他				事務事業の性格	☒ 義務的事業 ☐ 任意的事業			
					類型	4 規制・指導			
開始時期	昭和		年度	終了(予定)時期	平成		年度	会計区分	☒ 一般会計 ☐ 特別会計

事業概要	対 象	(誰を, 何を) 廃棄物排出事業者等
	活 動 容	(どのような手段で) 廃棄物排出事業者に対する減量・リサイクル及び適正処理に関して報告書及び計画書を徴収するとともに、廃棄物の処理等に関する相談を受け付けている。また、野外焼却等の不適正処理に関する通報を受けた場合には、改善に向けた立入指導等を行うほか、産業廃棄物が保管されている箇所については、継続監視し、適正保管、適正処理が行われるよう指導等を行う。
	目 的	(どのような状態にしたいのか) 各種環境法令が遵守された不適正処理のない社会を目指すとともに、大量生産、大量廃棄の社会から資源循環型社会システムを構築していく。

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算
	①	事業費 (千円)	17,419	14,302	15,702	35,166	18,984
		需用費(事務用品, パンフレット作成)	1,146	777	1,094	2,292	1,236
		通信運搬費(切手購入, タクシー備車料)	1,295	808	224	672	540
		その他	1,126	937	801	1,776	1,505
		補助金(微量PCB機器等把握支援事業)		103	429	4,575	
	①'	委託料 パトロール業務, 入力業務	13,852	11,677	13,154	25,851	15,703
	②	委託料が事業費に占める割合(①'÷①)(%)	79.5%	81.6%	83.8%	73.5%	82.7%
	③	人件費(24年度は見込)(千円)	109,910	65,251	63,603	48,561	48,561
		職員(課長級)(人)	0.88	0.37	0.37	0.63	0.63
		職員(課長補佐級、係長級)(人)	3.15	2.09	2.09	1.00	1.00
		職員(係員)(人)	7.76	4.64	4.64	3.80	3.80
		嘱託職員等人件費(千円)					
	④	年間経費(①+③)(千円)	127,329	79,553	79,305	83,727	67,545
	⑤	特定財源(市税等の一般財源以外)(千円)		103	429	5,000	
		国庫・府支出金(千円)					
		受益者負担分(使用料, 手数料等)(千円)					
		その他(基金繰入金)(千円)		103	429	5,000	
	⑥	京都市年間負担経費(④-⑤)(千円)	127,329	79,450	78,876	78,727	67,545
	⑦	受益者負担率(受益者負担分÷④)(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Ⅱ 評価結果

事業名 廃棄物排出事業者指導業務

Ⅱ-2 業績評価（Ⅱ-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略）

A 目標達成度		指標名	区分	単位	H20年度	H21年度	H 2 2年度	H23年度	H24年度
指標 1	立入指導件数		目標値 …①	件	500	350	350	350	350
			実績値 …②	件	649	312	328		
			目標達成度 (②÷①)	%	129.8%	89.1%	93.7%		
	指標の種類	増加することが良いとされる指標		評価	かなり良い	良い	良い		
指標 2			目標値 …①						
			実績値 …②						
			目標達成度 (②÷①)	%					
	指標の種類			評価					
				総合評価					

	指標の選択理由			目標値設定の考え方			
指標1	成果の数値が把握しづらいため、投入量・活動量を指標とする。			対象事業所数の概ね1割を目標値とする。			
指標変更の有無	☐ 有 ☒ 無	指標名		適用年度		単位	
指標2							
指標変更の有無	☐ 有 ☒ 無	指標名		適用年度		単位	
分析	<実績値の変動理由等> 平成21年度からは、事業系一般廃棄物指導業務の移管（平成20年度より移管、実績値は平成20年度まで計上）による対象事業所数の変動により、実績値が減少しているが、概ね目標値に近づいてきている。						

B 効率性	No.	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度
	①	立入指導件数	件	649	312	328
	②	年間経費（事業費及び人件費の合計額）	千円	127,329	79,553	79,305
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	196,192	254,977	241,784
	④	単位当たり経費変動率			+30.0%	-5.2%
分析				評価	かなり悪くなった	良くなった
	<コスト変動の理由等> 平成21年度と比べ、平成22年度の活動実績が増加したため効率性が良くなった。					

C 市民参加度	企画段階 ☐ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☒ 無	<現状分析、今後の方針等> 市民参加は行われていない。法令に基づく指導であるため、現状で市民参加を検討していない。
	実施段階 ☐ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☒ 無	
	評価段階 ☐ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☒ 無	
D 市民満足度	<調査の有無> ☐ 有 ☒ 無 ☐ 該当しない	<調査結果、現状分析等> 市民からの苦情等の減少が満足度の目安と考えている。
	<調査方法> 	
	<調査時期> 	
E 環境保全及び環境負荷軽減の要素	☒ 環境 ☐ 関連 ☐ 一般	<現状分析、今後の方針等> 立入指導体制を強化し、廃棄物の減量・リサイクルを推進することにより、大量生産、大量廃棄の社会から資源循環型社会システムを構築していく。

平成23年度の実施状況	廃棄物排出事業者に対して、立入指導、行政検査、報告徴収等を行った。 また、平成21年度から市内の中小企業者等を対象に、微量PCBが含まれている可能性のあるトランスやコンデンサ等の電気機器等を把握するための支援事業を行っている。（平成23年度まで実施）
-------------	--

市会・監査・外部機関等からの指摘	特になし
------------------	------

Ⅲ 今後の方向性

（今後の方向性の理由及び具体的な内容）	
現状のまま継続	今後も、廃棄物排出事業者に対して、より計画的な立入指導などを行い、産業廃棄物の3Rの推進や適正処理の確保を図る。